各 位

会 社 名ミニストップ株式会社 (コード番号 9946 東証第一部) 問い合わせ先専知締役 管賠門担当 井上 雅之 TEL (043)212-6472 当が親会社イオン株式会社 代表取締役 岡田 元也 (コード番号 8267)

業績予想の修正に関するお知らせ

2002年4月8日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。 なお、通期の業績見通しにつきましては、中間決算発表時にお知らせいたします。

記

1.2003年2月期連結中間業績予想数値の修正(2002年3月1日~2002年8月31日)

(単位:百万円、%)

	営業収入	経常利益	中間純利益
前回予想(A)			
(2002年4月8日発表)	31,300	5,100	2,400
今回予想(B)	32,600	5,690	3,100
増減額(B)-(A)	1,300	5 9 0	700
増減率	4 . 2	11.6	29.2
前期(2001年8月中間期実績)	31,088	5,682	2,148

2.2003年2月期単体中間業績予想数値の修正(2002年3月1日~2002年8月31日)

(単位:百万円、%)

	営業収入	経常利益	中間純利益
前回予想(A)			
(2002年4月8日発表)	26,600	5,090	2,400
今回予想(B)	27,410	5,680	3,130
増減額(B)-(A)	8 1 0	5 9 0	7 3 0
増減率	3 . 1	11.6	30.4
前期(2001年8月中間期実績)	26,552	5,656	2,152

3.連結及び単体の修正理由

(単体)

前期後半より導入いたしました新POSシステムおよび全ストアアドバイザーが携帯する情報端末(ノードブック型パソコン)の活用により、加盟店の品揃えを充実させた結果 既存店平均日販の伸び率はプラス0.6%と当初予想を上回る見込みとなりました。また、直営店が順調なことにより、営業収入は274億10百万円(対前年同期比103%)の見込みとなりました。

販売費及び一般管理費については、銀行ATMの利用件数が計画を上回ったことにより設置維持費用が当初予想を下回る見込みとなり、また、上記の新POSシステムや携帯情報端末などIT投資の効果で印刷物や通信費を計画以上に削減できる見込みとなりました。これらによって、マスターリースフランチャイズパッケージ改定によるロイアルティの減少をカバーして、経常利益は56億80百万円の見こみで前年同期の実績をわずかに上回る見込みとなりました。

保有株式の売却にともなう売却益 2 億 5 百万円を特別利益に計上する予定ですので中間純利益は3 1億3 0百万円 (対前年同期比 145%)の見込みとなりました。

(連結)

ミニストップ単体の利益が順調に回復し、連結対象会社もほぼ当初計画どおりに推移する見込みでありますので、営業収入、経常利益、中間純利益の予想数値を修正いたしました。

【ご参考】

2003年2月期中間期 ミニストップ(株) 営業の状況について (2002年3月1日~2002年8月31日)

1.店舗の状況

	期首店舗数	出店数	閉店	期末店舗数
加盟店	1250	77	1	1290
直営店	145	4	-	152
ミニストップ店計	1395	81	34	1442
その他店舗	11	0	9	2
会社計	1406	81	43	1444

2. 既存店平均日販の前年同月比推移

	3月度	4月度	5 月度	6 月度
CVS	102.8%	101.1%	101.8%	101.1%
IFF	101.7%	109.8%	97.5%	95.8%
計	102.7%	101.7%	101.4%	100.6%
客数	103.7%	101.6%	101.6%	99.8%
客単価	99.0%	100.1%	99.8%	100.8%

	7 月度	8 月度	上期通算
CVS	97.1%	102.6%	101.1%
IFF	87.7%	91.4%	96.0%
計	96.2%	101.4%	100.6%
客数	96.4%	102.8%	100.9%
客単価	99.8%	98.6%	99.7%